

# 図書だより 1月号

## 2021年本屋大賞 ノミネート作品



「犬がいた季節」  
伊吹有喜/双葉社



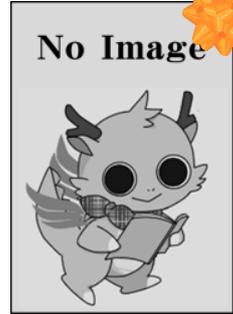
「お探し物は図書室まで」  
青山美智子/ポプラ社



「推し、燃ゆ」  
宇佐見りん/河出書房新社



「オルタネート」  
加藤シゲアキ/新潮社



「逆ソクラテス」  
伊坂幸太郎/集英社



「この本を盗む者は」  
深緑野分/KADOKAWA



「52ヘルツのクジラたち」  
町田そのこ/中央公論新社



「自転しながら公転する」  
山本文緒/新潮社



「八月の銀の雪」  
伊与原新/新潮社



「滅びの前のジャングリラ」  
凧良ゆう/中央公論新社



購入済の本には  
花を付けました。  
その他の本は急いで  
注文します！

大賞の発表は  
2021年4月14日です！  
予想してみてくださいね♪



### 「妄想国語辞典」2 野澤幸司/扶桑社

あの話題の国語辞典がパワーアップして帰ってきました！  
こんなのがたくさん書いてあるよ↓

- 一生のお願い 【意味】定期的に発生する事象
- 知り合いの知り合い 【意味】ほぼ無関係なこと
- 中一のときの中三 【意味】絶対に敵わない存在

思わずクスッと笑ってしまう言葉の数々。今回は松重豊さんの街ぶら写真がいいアクセントになっています。

「孤独のグルメリーディング」  
「そんなにくらべられるの？」  
「注文している人だよ」



### この問題、とけますか？ (吉田敬一/大和書房, p79 より)

Q. ある不思議な樹は、初日に1個実をつけると翌日は2個に、翌々日は4個と前日の2倍の実をつけます。そして30日目にはカゴ満杯の実をつけます。カゴ半分の量の実をつけるのは何日目でしょう？ 答えは裏面にあるよ。

- 1日目 → 1個
- 2日目 → 2個
- 3日目 → 4個



# 1～3月期 映画 & テレビ映像化作品

## 【映画】

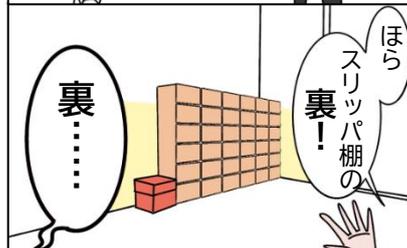
「ファーストラヴ」 島本理生/文藝春秋  
 「夏への扉」 ロバート・A・ハインライン/早川書房  
 「騙し絵の牙」 塩田武士/KADOKAWA



## 【テレビ】

ドラマ「スクールポリス」 佐々木充郭/ポプラ社 →  
 アニメ「2.43 清陰高校男子バレー部」 壁井ユカコ/集英社

## おすすめ欄



いや〜、アルゴリズムってすごいよね〜

「未来からの脱出」 小林泰三/KADOKAWA

「ここは監獄だ。逃げるためのヒントは あちこちにある。ピースを集めよ」

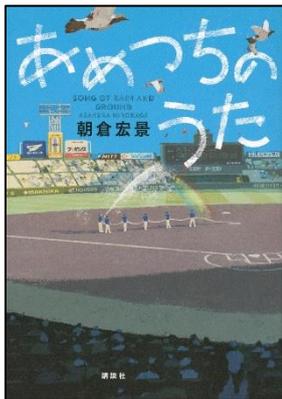
福祉施設で平穏に暮らしていたサブロウ。しかし彼は施設に来るまでの記憶が全くないことに気づく。やがてこの施設が監獄であることを知ったサブロウは脱出を計画する。



「あめつちのうた」 朝倉宏景/講談社

甲子園の神整備「阪神園芸」が小説に!

絶望的な運動神経の雨宮大地は甲子園のグラウンド整備を請け負う阪神園芸へと入社するが、仕事は失敗続き。しかし、様々な悩みを持つ仲間たちと、自らの弱い心を掘り起こすように土へと向き合っていく。



## この問題、とけますか？ 答え：29日目

次の日2倍になるということは、前日は半分だったということですね。ということは、カゴ満杯の半分は30日目の前日。つまり29日目というわけです。

この問題を1から計算機も使わず自力で計算し、29日目になったところで答えに気づき、その紙を丸めてぶん投げた人→



## 今月のダ・ヴィンチ

- ① 美少女戦士セーラームーン
- ② 島本理生の祈り
- ③ 試し読み「拾い猫のモチャ」

「うちの子には負ける気しかない」

他にも盛りだくさん!

試し読みマンガの「うちの子には〜」が個人的に面白かったです。

